（別紙３）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育はいたっち阿倍野教室			
○保護者評価実施期間	R7年　2月　14日		～	R7年　3月　31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	54	（回答者数）	28
○従業者評価実施期間	R7年　3月　1日		～	R7年　3月　31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	54	（回答者数）	28
○事業者向け自己評価表作成日	R7年　3月　14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い指導員が支援を行っていること。	運動や発達に関してのプロフェッショナルな指導員や専門職の指導員が、丁寧に支援を行います。	4月から新たに保育士の先生が入職されるので、違った方面での療育や関わりなどができる幅が広がると思います。
2	従業員同士が密に話合いを行い、適切な運動メニューを構成することができていること。	支援計画や身体評価をもとに、スタッフ間で密に話し合い必要な運動メニューや関わり方を共有して支援を行えています。	空き時間などでさらに新しい運動メニューを考案したり、実践して注意点や意見などを出し合ってよりよい療育が提供できるようにしていきます。
3	指導員と保護者様の距離が近く、相談しやすい雰囲気・環境作りができていること。	自発管だけでなく、全スタッフが運動前後にお話しをしたり本日の振り返りをしています。 運動中は見学ができるので、その都度声がかけやすい環境になっています。 専門的な指導員がそろっているので、悩みについての解決策を提案することができています。	引き続き全スタッフがレッスン前後で積極的に利用者、保護者に話しかけて良い雰囲気作りを意識していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1人で来所しているお子様が多いので、保護者の方とコミュニケーションが取りずらいところ。	自分で通う練習をしているご家庭や自立しており一人で通うように伝えられているご家庭がいるため。	モニタリングの時期に手紙だけでなく電話やLINEを活用し、コミュニケーションを図っていこうと思います。 引き続き、課題などはお手紙にして渡し情報共有を行っていきます。
2	活動スペースが十分確保できず、活動量をしっかりと取れないことがある点。	予約人数が多いこと、数人で活動することもありスペースが確保できないことがある。	外での活動も増やしていきながら、各個人に必要な課題や運動提供を行っていきます。
3	収納スペースが少なく、視覚情報が多くなってしまう点。	収納スペースが少なく物が多くなってしまう。	収納スペースを増やしたり、運動前に出来る範囲で片づけて視覚情報が少なくなるよう努めていきます。